



上小小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1

HP <http://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/>

TEL : 048-644-6251

教育目標

- ◎ 心豊かな子
- ◎ 進んで学ぶ子
- ◎ 健康な子

友達は宝物

校長 小林 真理子

日の暮れが早くなり、秋も終盤を迎えようとしています。学校では、11日(土)の学習発表会や15日(水)のマラソン大会に向けた練習や準備に熱が入ってきました。応援してくださる家族や地域の皆様に向けて、一人ひとりが精一杯頑張る姿を見せてくれることでしょうか。結果ももちろん大切ですが、その頑張りや伸びを認め、「ささやかな自信」につなげていきたいと思えます。

さて、先月は5年生の館岩自然の教室と6年生の修学旅行に同行しました。どちらの学年も友達同士の仲がよく、この時期の子どもたちにとって、まさに「友達は宝物」なのだとはほほえましく思いながら帰ってまいりました。

館岩自然の教室では、「ヤマメさばき」をしました。まず、生きているヤマメの頭を準備されたナイフのみねでコンと叩いて気絶させます。それからナイフを使って内臓を取り出し、串に刺して塩を振ります。初めての体験に大騒ぎです。頭を叩くのにためらう子、腹を開くのに涙が出る子、などなど。でも、友達がいるから大丈夫。すでに終わっている友達が隣でやり方を教えています。そして、みんなで一緒に戴くヤマメのなんと美味しいこと。友達がいるから味わうことのできた美味しさでした。

修学旅行では、友達意識の広がりが高まりを感じました。5年生の友達は同じグループであったり、気の合う友達であったりしていましたが、6年生の友達意識はもっと広く、学校代表としての崇高な意識をもって行動しているように感じました。友達とともに、どうしたらより楽しく思い出に残る修学旅行になるのだろうと、目標の実現に向けて協力しあう友人関係です。自分勝手な行動を押さえて集団の一員として振る舞う姿に大きな成長を感じました。

いずれにせよ、成長の陰には友達ありです。どちらの学年にも、友達とともに成長する姿がありました。よい友が自分を成長させ、自分もまたよい友になって互いに成長していくということでしょうか。やはり「友達は宝物」です。

私事ですが、久しぶりに中学校の同窓会を開こうという話がもちあがり、幹事の一人となりました。あの時の友達は今、何をしているのでしょうか。何十年たっても宝物と思える友達がいることに幸せを感じます。

今月も上小小の教育に保護者・地域の皆様の変わらぬご支援とご協力をどうぞよろしく願いいたします。



【瞳輝くカミコン】「4年生ダイコンの間引き」の一コマから
いずみ高校の生徒さんに、種まきから教えていただきました。間引きしたダイコンの葉は、お味噌汁の具にするそうです。